

技術シーズ分野; 臨床・基礎医学

技術シーズ; 磁気共鳴画像(MRI)装置

— 放射線を用いないで生体内情報を画像化する装置 —



国立大学法人滋賀医科大学

実験実習支援センター

産学連携 <http://www.crl.shiga-med.ac.jp/home/sangakurenkei/sangakurenkei.html>

「放射線被ばくなしに身体の内部を見る」

■ 技術シーズの概要

身体の内部を見るのはレントゲン(エックス線撮影)が有名ですが、放射線を使用するため、被ばくによる障害が生じるリスクがあります。

一方、MRI装置は強い磁場と電波を使って、体内の様子を画像化する装置で、被ばくの危険性はありません。

滋賀医科大学の実験実習支援センターに設置されているMRI装置(磁場強度3テスラ)は、マウスなどの小動物からサル・ブタなどの中型動物まで様々な種類の動物実験に利用できます。

■ 計測・評価例

- ・ 種々の臓器や組織の状態を観察することが可能

■ 担当者からの一言

- ・ 様々な角度から体内の状態を、迅速かつ精細に観察できます。

＜現有機器＞

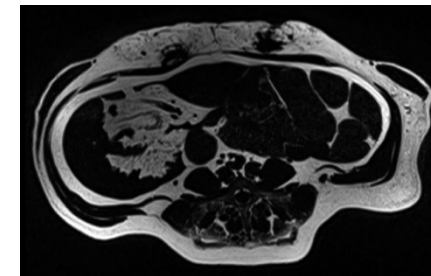


装置型式: シームスヘルスケア MAGNETOM Verio

装置の仕様

稼働静磁場強度: 3T
 マグネット長: 163cm
 ガントリー長: 173cm
 ボア内径: 70cm
 漏洩磁場: 5G (0.5mT)

＜撮影画像の一例＞



撮影画像

ブタ腹部の横断断面の画像
 任意の位置で断面像を表示できる。

お問い合わせ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携担当

077-548-2847 E-mail; hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp